

文部科学省 令和 6 年度 高度医療人材養成拠点形成事業
(高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援) に
代表校として採択されました

東京慈恵会医科大学は、文部科学省が公募する令和 6 年度高度医療人材養成拠点形成事業に採択されました。

本事業では、母子医療・栄養分野でランダム化臨床試験と大規模コホート研究により国際レベルの臨床研究推進を目指します。そのために、「大学院医学研究科 臨床研究専修コース」と「医学生 SA」を新設し、研究教育支援者 4 名を雇用することで、臨床研究に注力する大学院生数を増やします。また、臨床実習期間を拡充し、e ポートフォリオシステム導入により学生に医行為を確実に経験させます。さらに「臨床試験方法論」と「ハーバード・MIT 研修」を新設して高い能力と強いモチベーションを持つ臨床研究医を育成します。複数のフォーラムを定期的に行い、ハーバード大など国内外からの最先端の研究者を招聘しながら活発に意見を交換し、また東京理科大学とは発達免疫学、江崎グリコとは腸内細菌叢の生後発達、島津製作所とは妊娠高血圧症発症リスクの血清ビタミン D 等バイオマーカー探索、モデルナとは本事業の成果の mRNA 医薬導出で協力し合うことにより当該分野を牽引する拠点となることを目指します。

代表校名	東京慈恵会医科大学
事業名	母子医療・栄養分野における国際レベルの臨床研究推進と医療人材育成の拠点形成
選定タイプ	タイプ B 特色臨床研究基盤人材養成拠点
事業概要	診療参加型臨床実習期間を拡充する等、臨床実習・臨床研究に注力する医学科生や大学院生を増やし、高度な臨床・研究能力を有する医師を養成する。他大学や企業と共に拠点を形成し、母子医療・栄養分野で国際レベルの臨床研究推進を目指す。

関連サイト [文部科学省 高度医療人材養成拠点形成事業ホームページ](#)

*TA (ティーチング・アシスタント)、RA (リサーチ・アシスタント)、SA (スチューデント・アシスタント)